

- 福井県では、PAZ圏内住民を対象に昨年より説明会を実施。今後も説明会を実施し、配布を行う。



地区	住民数 (人) (3歳以上の 住民を対 象)	配布者 数 (人)
おおい町大島 おぼまし うちとみ 小浜市内外海	1,010	868

※対象住民数

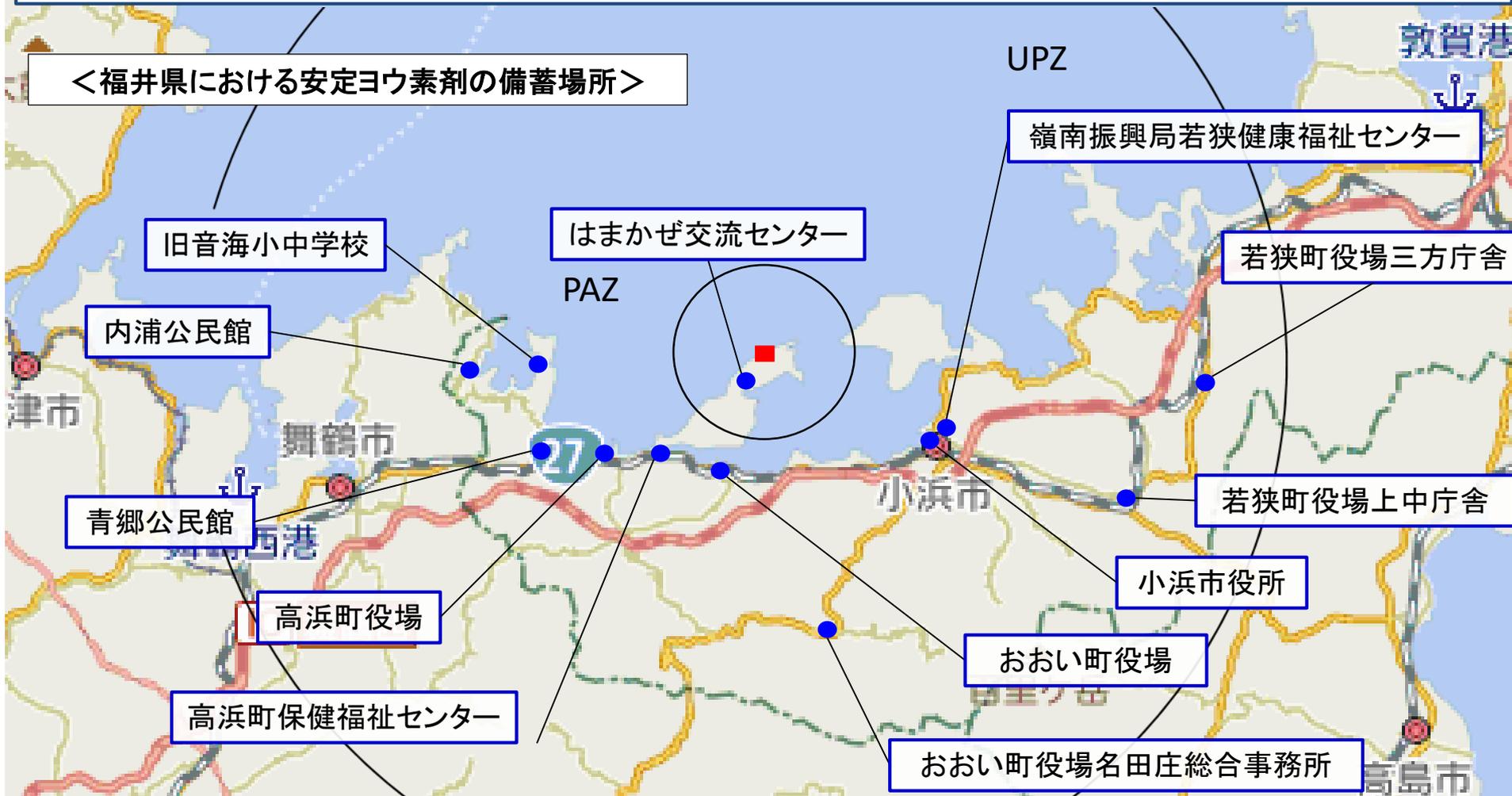
福井県：平成27年10月現在

※配布者数

福井県：平成28年2月現在

- 避難住民等に対する安定ヨウ素剤の緊急配布に備え、福井県は計14箇所の施設に合計379,000丸の丸剤と6,000gの粉末剤を備蓄。
- 緊急配布は備蓄先より一時集合場所等に設置する緊急配布場所に搬送の上、対象住民等に順次配布・調製を実施。

＜福井県における安定ヨウ素剤の備蓄場所＞



※上記12箇所の他、嶺南振興局二州健康福祉センター（敦賀市）、丹南健康福祉センター（鯖江市）に備蓄

京都府における避難住民等に対する安定ヨウ素剤の備蓄状況と緊急配布

- 避難住民等に対する安定ヨウ素剤の緊急配布に備え、京都府は計14箇所[※]の施設に合計400,000丸の丸剤と8,000gの粉末剤を備蓄。
- 緊急配布は備蓄先より一時集合場所等に設置する緊急配布場所に搬送の上、対象住民等に順次配布・調製を実施予定。

<京都府における安定ヨウ素剤の備蓄場所>



滋賀県における避難住民等に対する安定ヨウ素剤の備蓄状況と緊急配布【P】

- 避難住民等に対する安定ヨウ素剤の緊急配布に備え、滋賀県は計66箇所の施設に合計290,000丸の丸剤と2,350 gの粉末剤を備蓄。
- 緊急配布は備蓄先より一時集合場所等に設置する緊急配布場所に搬送の上、対象住民等に順次配布・調製を実施予定。

<滋賀県における安定ヨウ素剤の備蓄場所>



福井県、京都府及び滋賀県の避難退域時検査場所の候補地

- 避難退域時検査は府県内及び府県外への避難を想定し選定した候補地において実施。なお、バックグラウンド値の上昇等により、当該検査場所が使用できなくなることも想定し、複数の候補地をあらかじめ準備。
- 大飯地域では舞鶴若狭自動車道や国道27号が両府県の主要な避難経路とされていることから、両府県の住民が確実に避難退域時検査を受けられることができるよう、避難退域時検査場所に避難先説明要員等を配置。



※綾部PAを經由

避難退域時検査場所を通過する避難元市町【P】

- 両府県では緊急時の避難を円滑に行うため、UPZ内人口等を考慮し、あらかじめ避難元市町と各避難退域時検査場所の紐づけを実施。ただし、緊急時における検査実施場所はOILに基づくUPZ圏内の一時移転等対象地区の範囲や候補地のバックグラウンド値等に基づき設定することとなる。

福井県の避難退域時検査場所候補地

検査場所候補地	避難元市町
きのこの森 うみんぴあ大飯 道の駅名田庄 県若狭合同庁舎 若狭鯉川海水浴場 小浜市総合運動場 若狭町役場上中庁舎 道の駅若狭熊川宿 美浜町役場 敦賀市総合運動公園 加斗PA 小浜西IC 三方五湖PA 綾部PA(あやべ球場)※ 美山長谷運動広場 計15箇所	おおい町 小浜市 高浜町 若狭町 美浜町

※綾部PAを經由

京都府の避難退域時検査場所候補地

検査場所候補地	避難元市町
綾部市中央公民館 綾部工業団地・交流プラザ 三段池公園 長田野体育館 丹波自然運動公園 道の駅てんきてんき丹後 野田川わーくぱる 計7箇所	京都市 舞鶴市 綾部市 南丹市 京丹波町

※京都府「原子力災害に係る広域避難要領(平成27年2月)」に基づく

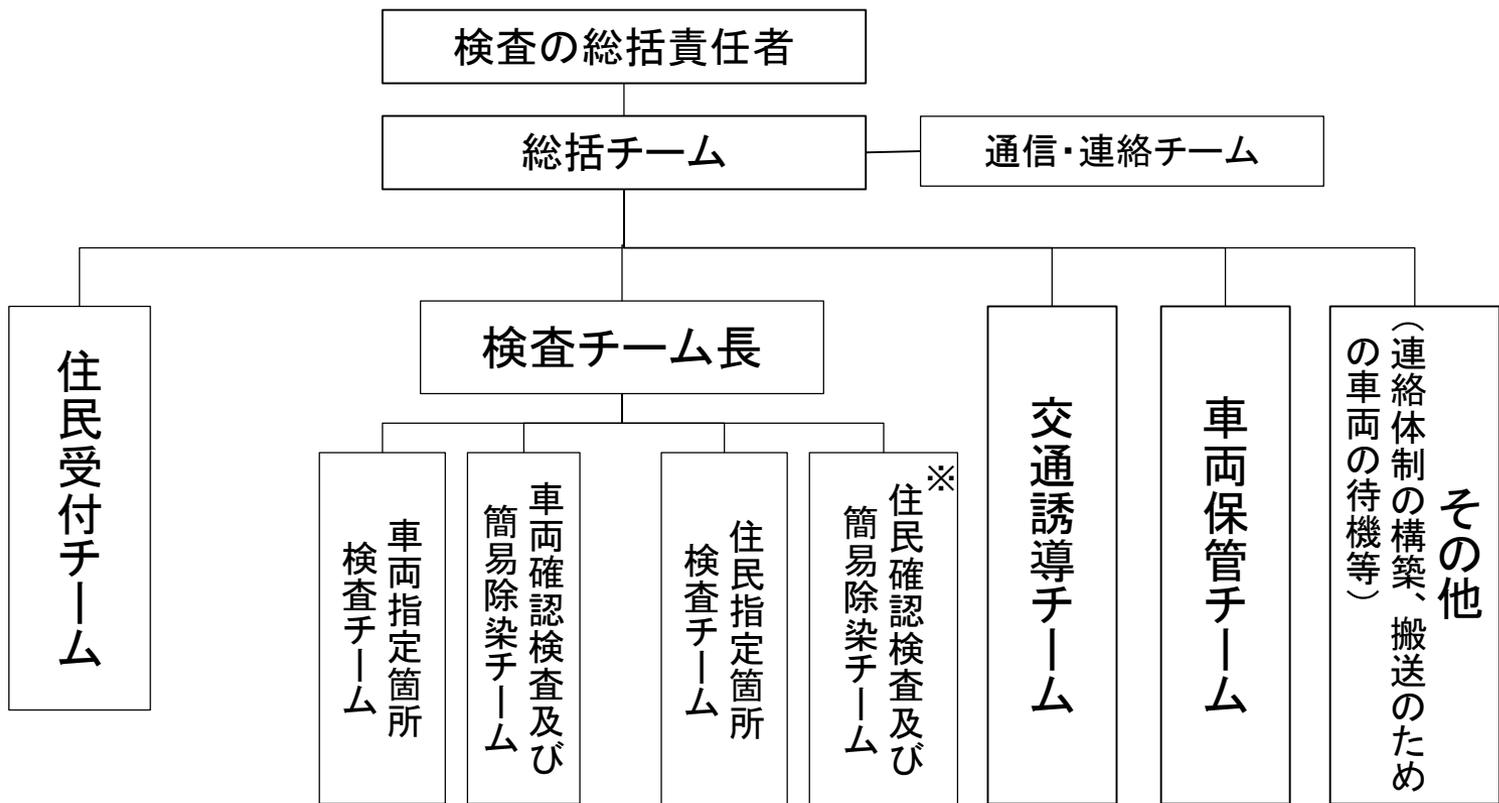
滋賀県の避難退域時検査場所候補地

検査場所候補地	避難元市町
道の駅藤樹の里あどがわ・ 安曇川図書館 新旭体育館・武道館 計2箇所	高島市

避難退域時検査場所の運営体制

- 福井県、京都府、滋賀県及び原子力事業者は、国の協力を得ながら、指定公共機関の支援の下、避難退域時検査場所において住民等の検査及び検査結果に応じて簡易除染を実施。
- 原子力事業者は備蓄資機材を活用し、800人程度の要員を避難退域時検査場所へ動員。
- 指定公共機関(量子科学技術研究開発機構・日本原子力研究開発機構)は国及び関係自治体からの要請に基づき、要員及び資機材による支援を実施。

避難退域時検査場所における検査及び簡易除染の体制(例)



※携行物品検査を含む